

5 脱走兵

「目が覚めたのは何の音で
今は物音一つする気配も無いが」
「多分 ^{おもて}表を通った車輪の音よ それとも雷かしら
横になって 太鼓の音ではなかったわ」

海は大荒れ お二人は港でお休み中 5
あちらでは戦闘勃発
カラスよ 飛んでけ カラスよ 続け
戦いに群がるカラスども

「あれは確かに角笛の音
俺は一体何してる 10
戦友はみな起きだし 身支度し 死んでゆく
俺も身支度整えて いざ死にゆかん」

「愛こそ命 ^{いくさ}戦なんて捨てるほどあるわ
死肉となっては一文の値打ちも無しよ
四時をまだ二十分回ったばかり 夜明けはまだよ 15
もう一度横になって 休みましょ」

「ベルトを寄越せ ペちゃくちゃ喋るな
おまえとててくってる時間はもうお仕舞いだ
俺の ^{いくさ}戦の一日の始まりだ
戦 ^{いくさ}の夜が明けてきたのだ 20

「人間どもの刈り入れ時だ
かわい子ちゃんよ バイバイだ
本気と取ろうが嘘と取ろうが おまえの勝手
交わした誓いもバイバイだ」

「嘘つき助平 わたしをポイ捨てる気かい 25
さすがご立派な兵隊さん
まともなまぐわいの悦びを知る前に
この世にバイバイするがいい

「おまえさんらが愛しているのは 身の破滅
今日は東 明日は西 30
世界中を漁り歩いて求愛^{もと}めているのは
胸に抱きしめる銃弾だとさ

「海の彼方に消えるがいいよ
帆を上げて行ってお仕舞い
そうして 鉛の恋人を胸^{いだ}に抱いて 35
海原を枕^{ねむ}に永眠^いるがいいさ」

(山中光義訳)